

調 達 品 目 表

調達要求番号		作成部課	補給本部需品部需品管理課
調達要求年月日	平成30年 6月21日	作成年月日	平成30年 6月21日
仕様書番号	C&LPS-I00002-7		

品 名	カタログ製品名 a)	数 量
落下傘 (自由降下用) 国産	藤倉航装(株)製 「FS-300M/R」 (主傘：FS-300M × 1EA、予備傘：FS-300R × 1EA) 又は同等以上のもの（他社の製品を含む。）	4EA

注 a) この調達品目表に記載したカタログ製品名は、製品を選定する際の参考として例示したものであり、当該製品を指定するものではない。

1 同等とする性能等

- a) 陸上及び洋上の要救難現場において運用可能なこと。
- b) 製品として完成した状態で納入されること。
- c) 主要諸元は次のとおりとする。

区 分	項 目	諸 元
主傘	形状及び開傘方式	ア 形状は、方形傘（楕円形状）であること。 イ 開傘方式は、自動索方式及び手動方式（自由降下）を有していること。 ウ 装帯は、資器材等を携行できる仕様（V型環等）であり、翼面積は300sqft以下であること。また、使用者の体型（身長、座高）に適合し得る機能（リフトウェイビング調整環等）を有していること。 エ 傘体の構造が9セル以上であること。
	性能	ア 飛行する航空機から、最大対気速度140kt、最低対地高度は、自動索降下方式の場合は3000ft、自由降下方式の場合は3500ftからの降下が可能であること。 イ 滑空比は、4.0以上とし、着陸時の低速度帯において、現行装備品（MC-5）の失速速度である4kt以下の低速度域でも失速せず、滑空が可能であること。
	その他	ア 傘体の配色は、グレーを基調とした低視認性のものであること。 イ 吊索（ライン）は、使用による伸びが少なく浮遊性があること。また、梱包に複雑な手順を要せず、かつ、人為的なミスを防止する処置等がなされていること。

調 達 品 目 表 (続 き)

調達要求番号		作成部課	補給本部需品部需品管理課
調達要求年月日	平成30年 6月21日	作成年月日	平成30年 6月21日
仕様書番号	C&LPS-I00002-7		

区 分	項 目	諸 元
主傘	その他	ウ 国内における各地の各種気象環境条件下（洋上を含む）において性能を発揮できること。
予備傘	形状及び開傘方式	ア 形状は、方形傘（楕円形状）であること。
		イ 開傘方式は、スプリング式の誘導傘を有し、主傘の切離し操作（カットアウェイ）で予備傘が自動放出される（RSL方式）こと。また、自動開傘装置による強制開傘に対応していること。
	ウ 装帯は、資器材等を携行できる仕様（V型環等）であり、翼面積は300sqft以下であること。また、使用者の体型（身長、座高）に適合し得る機能（リフトウェイビング調整環等）を有していること。	
	エ 傘体の構造が9セル以上であること。	
	性能	飛行する航空機から、最大対気速度140kt、最低対地高度は、自動索降下方式の場合は3000ft、自由降下方式の場合は3500ftからの降下が可能であること。
	その他	主傘に同じ。
安全性	ア	確実な開傘性及び使用者の練度を限定しない幅広い適合性が、運用実績などで実証されているとともに、緊急時において、特別な手順及び操縦技術を必要としないこと。
	イ	自動開傘装置は、設定した高度において、自動的に開傘させる機能を有すること。
	ウ	吊索（ライン）は、高強度のポリエチレン等を採用し、引き込み式縫製等の加工を施す等、ラインに起因するトラブルの発生を防止するための処置をしていること。
	エ	浮力体等を付加できる機能を有する等、洋上降下時における安全性を有していること。

2 その他の指示

2.1 提出書類

- a) 類別原資料は、必要とする。
- b) 取扱説明書は、会社刊行技術資料（日本語版）を1EAに1部添付するものとする。